

長島町総合振興計画（フル・デュー・プラン）を推進



長島町長 川 添 健

新年あけましておめでとうございます。

皆さま方には長島町行政推進に対し、深いご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

平成19年は、新生「長島町」2年目となり、合併後の旧町間の融和と地域および制度の格差是正に懸命に取り組んでまいりました。

3月には、時代に即応した新たな仕組みを構築するため、中長期的な視野に立った新生「長島町」の町政運

営の基本指針として「夢と活力があり 住民一人ひとりを大切にする福祉の町づくり」を理念とした長島町総合振興計画「フル・デュー・プラン」を策定いたしました。フルは満

英語のドリーム、エネルギー、ウェルフェアの頭文字DEWをとったものです。デュー(D E W)は、小さな水滴という意味もあります。小さな水滴も集まれば大河となります。つまり、町民一人ひとり

10月には、町民の融和を図るためのイベントとして「大きな未来へ 大きくなった長島から 大きな造形のプレゼント」をテーマに実施した「第12回ながしま造形美術展」は各団体から107点の出品があり、旧長島町の住民にとつては、初めての制作となりましたが、初参加とは思えない見事な作品が出品されました。来場者も全国から7万人を超え、正に長島の代名詞となるイベントとして期待が高まっています。

本町では、これまでも少子高齢化の影響による人口減少が続く中、産業振興の基盤である道路、港湾の整備、耕地の区画整理、かんがい用水の整備を進めてきたほか、生活の基盤である上下水道の整備、医療福祉の充実や教育施設整備を進めてまいりましたが、まだまだ課題は山積みの状況にあります。

しかしながら、当地域は間近となった九州新幹線の全線開通をはじめとする3県架橋、地域高規格道路、南九州

西回り自動車道の整備などビッグプロジェクトが目白押しであり、人と物の交流、産業と観光の融合という観点から魅力的な位置にあるといえます。

私は、平成20年の年頭にあたり、ふるさと長島の将来像として描いている①夢を育むまち②快適で利便性の高いまち③誰もが安心して暮らせるまち④活力あふれるまち⑤自然と共生するまち⑥健やかに暮らせるまち⑦魅力ある人材を生むまち⑧町民が主役

のまちを実現するため、フル・デュー・プランの基本方針であります「夢と希望に満ちたまちづくり」、「快適で住みよいまちづくり」、「活力あふれるまちづくり」、「健康で生きがいのもてる福祉のまちづくり」、「地域の特性を生かした教育・文化のまちづくり」、「自主性、自立性が高く町民が主体のまちづくり」の6項目の推進に全力を傾注してまいります。

具体的には、生活基盤、産業基盤である国道389号や

各県道の整備促進、町道改良、港湾・漁港の整備、農林道の整備および農地の区画整理事業を推進いたします。

観光関連事業では、小浜海水浴場施設の大規模改修や長島の玄関口である黒之瀬戸大橋公園の拡張と施設整備を進め、本年営業運転が開始される21基の風力発電施設や既存の観光施設および事業者、さらには、本町の特性である農業・漁業との連携を図ることで、島内周遊観光の確立を目指します。

また、一人ひとりを大切にする福祉の充実したまちづくりには、相談活動を実行する「ともしび隊」を結成し、高齢者宅に向いて相談を受けけるなど、福祉事務所を拠点に、迅速丁寧できめ細やかな対応を行います。

「フル・デュー・プラン」推進のため、町民一人ひとりの力を結集した取り組みを誓い、皆さまのご健勝とご奮闘を心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。